

## 回 答 書

令和3年(2021年)5月17日

質問書提出事業者 様

鎌倉市長 松尾 崇

(公印省略)

鎌倉市職員の福利厚生外部委託業務プロポーザルに係る質問について回答します。

質問事項	回 答
<p>【仕様書について】</p> <p>Q1) 対象の職員(1,500名)の属性(男女比・年代等)を教えてください。</p>	<p>A1) 令和3年5月1日時点の対象職員は1,435名で、うち男性が約67%、女性が約33%です。</p> <p>年代は30歳未満約21%、30歳代約24%、40歳代約19%、50代約26%、60代約10%です。</p> <p>職種内訳は一般職員が1,189人、消防職員が246人です。</p> <p>居住地は鎌倉市内在住者が約39%、神奈川県内在住者が約98%です。</p>
<p>Q2) 委託金額の上限を超えた場合は受注者の負担となるのか。</p> <p>受注者負担の場合、委託金額の上限を超えた場合は受付を止めることは可能か。</p>	<p>A2) 仕様書9(4)のとおり、各年度において「一般職員」と「消防職員」に設定した委託金額を超えた経費については、受注者に負担いただきます。</p> <p>なお、年度上限額を超えた場合、年度内の受付を止めることは差し支えありませんが、仕様書別紙事業整理図Aの「パッケージ事業」及び「パッケージ付帯事業」については、サービスを継続していただきます。また、翌年4月1日以降は再開していただきます。</p>
<p>【パッケージメニューについて】</p> <p>Q3) パッケージメニューの直近3年度分の利用実績、名寄せ人数を教えてください。</p>	<p>A3) パッケージ事業の利用実績は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成30年度 延利用件数6,938件、延利用人数8,216人、 名寄せ人数735名</li><li>令和元年度 延利用件数8,477件、延利用人数9,839人、 名寄せ人数831名</li><li>令和2年度</li></ul>

<p>【ガイドブック、元気回復だよりについて】</p> <p>Q 4) ガイドブック、元気回復だよりのサイズ・ページ数、冊数について教えてほしい。</p> <p>Q 5) ガイドブックは、ページ数の指定はあるか。</p> <p>Q 6) ガイドブックについて、可能な範囲で掲載内容を提示してほしい。</p> <p>Q 7) ガイドブックは、WEB 上でのデジタルガイドブックでの対応は可能でしょうか。</p> <p>Q 8) 配送先、配送部署数を教えてほしい。</p> <p>【助成事業について】</p> <p>Q 9) 各種助成金額は、仕様書に示された助成額以外でも可能か。</p>	<p>延利用件数 5,419 件、延利用人数 6,060 人、名寄せ人数 654 名</p> <p>A 4) 令和 2 年度に作成した内容は次のとおりです。</p> <p>【ガイドブック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 4 サイズ カラー印刷 24 ページ（表紙・裏表紙含む） 1,500 冊</li> </ul> <p>【元気回復だより】※ 2 回発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ① A 4 サイズ カラー印刷 4 ページ（A 3 二つ折り） 1,450 部</li> <li>・ ② A 4 サイズ カラー印刷 2 ページ（両面印刷） 1,450 部</li> </ul> <p>A 5) ガイドブック、元気回復だよりともに、ページ数の指定はありません。</p> <p>A 6) ガイドブックには、パッケージ事業やオリジナル事業のサービス内容及び利用・申込方法、市役所近郊で利用できるサービスの特集、各種問い合わせ先等を掲載していますが、掲載内容についての詳細な規定はありません。</p> <p>なお、「業務提案書作成要領」記載のとおり、令和 2 年度に作成したガイドブック及び元気回復だよりを希望される場合は、郵送にて提供いたします。</p> <p>A 7) PC、スマートフォン等を利用しない職員もいることから、ガイドブックの紙冊子作成は必須とさせていただきます。</p> <p>紙冊子に加えて、デジタルガイドブックを提供いただくことは差し支えありません。</p> <p>A 8) 配送先は、鎌倉市役所本庁舎及び出先機関であり、すべて鎌倉市内で、約 50 箇所です。</p> <p>原則課ごとに仕分け梱包の上、発送いただきますが、仕分け梱包数は約 120 個です。</p> <p>なお、配送部署数及び仕分け梱包数は、機構改革等によって変動があります。</p> <p>A 9) 助成金額は、仕様書に示した助成額を原則としますが、別の金額で提案いただくことは差し支えありません。</p> <p>ただし、仕様書記載の助成金額を下回る場合は、その旨</p>
--	--

<p>Q10) 各種助成事業の直近3年度分の利用実績を教えてください。</p>	<p>と理由を提案書に記載してください。</p> <p>なお、職員の利用実績等を踏まえて、助成金額を変更する場合があります。</p> <p>A10) 助成事業の利用実績は次のとおりです。</p> <p>ア 宿泊助成 (助成額 2,500 円/泊)</p> <p>平成30年度 422泊 844,000円 (助成額 2,000円/泊)</p> <p>令和元年度 458泊 1,145,000円</p> <p>令和2年度 140泊 350,000円</p> <p>イ 東京ディズニーリゾート助成(助成額 1,500 円/枚)</p> <p>平成30年度 649枚 973,500円</p> <p>令和元年度 598枚 897,000円</p> <p>令和2年度 162枚 243,000円</p> <p>ウ こもれび山崎温水プール助成 (助成額 200 円/枚)</p> <p>平成30年度 52枚 10,400円</p> <p>令和元年度 27枚 5,400円</p> <p>令和2年度 0枚 0円</p> <p>エ 映画鑑賞助成 (助成額 650 円/枚)</p> <p>平成30年度 918枚 596,700円</p> <p>令和元年度 720枚 468,000円</p> <p>令和2年度 539枚 309,400円</p> <p>オ まちの社員食堂助成 (助成額 200 円/枚)</p> <p>平成30年度 157枚 31,400円 (H31.2~提携開始)</p> <p>令和元年度 561枚 112,200円</p> <p>令和2年度 586枚 117,200円</p>
<p>Q11) こもれび山崎温泉プールやまちの社員食堂の助成チケットは受託業者にて作成するのか。</p>	<p>A11) 受託業者にて紙のチケットを作成いただきます。</p> <p>職員が受注者に助成券の発行を申込み、受注者が助成券を発行するという手続きを行います。</p> <p>なお、チケットの様式に指定はありませんが、使用者と使用日が確認できるものとしてください。</p>
<p>Q12) 映画助成と東京ディズニーリゾート助成の申し込み方法において、「FAX、コールセンター等」と記載されているが、この申込方法は必須なのか。</p>	<p>A12) PC、スマートフォン等を利用しない職員もいることから、広くサービスを利用できるよう、ホームページ等のWEBによる受付のほか、FAXやコールセンター等での申込が可能となることが望ましいです。</p> <p>対応が難しい場合は、その旨を提案書に記載してください。</p>

<p>Q13) 令和6年度は「助成事業なし」とのことだが、令和6年度7月から再度同じ事業者へ委託が決定した場合は、「助成事業は再開する」という認識でよいか。</p>	<p>A13) 令和6年(2024年)7月以降の事業内容については未定ですが、今年度と同様に、7月1日以降は、前年度までと同程度の助成事業を継続することを想定しています。</p>
<p>【職員コミュニケーション活性化事業について】</p>	
<p>Q14) 直近3年度分で行ったイベントの実績、実施内容、規模等を教えてほしい。</p>	<p>A14) 職員コミュニケーション活性化事業の実績等は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 東京ディズニーリゾートバスツアー 1日 49名参加</li> <li>② 劇団四季鑑賞&amp;ランチビュッフェ (4講演分実施、100名参加)</li> </ul> </li> <li>・ 令和元年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 屋形船クルーズ 1日 33名参加</li> <li>② 劇団四季鑑賞&amp;ランチビュッフェ (4講演分実施、100名参加)</li> </ul> </li> <li>・ 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント実施なし</li> </ul>
<p>Q15) 一人当たりの経費は、5,000円～10,000円を目安と記載があるが、参加者から個人負担を求めることは可能か。</p>	<p>A15) 参加者の自己負担額を加味して事業を計画することは差し支えありません。過去の事業では、一人当たり経費を参加者本人と発注者で1/2程度ずつ負担して適用しているケースが多いです。</p>
<p>Q16) ライフプランセミナーを毎月実施することを契約に盛り込むことは可能か。 例) 退職者セミナーなどお金にまつわる内容</p>	<p>A16) 追加企画については、予算の範囲内であれば可能ですので、ご提案ください。</p>
<p>【業務提案書、選考方法について】</p>	
<p>Q17) 業務提案書等の提出資料に弊社社名を記載しても差し支えないか。また、プレゼンテーションの際にも社名を顕名してよいか。</p>	<p>A17) 本プロポーザルは、業者名を公表して行うこととしていますので、選考時における社名公表は差し支えありません。</p>
<p>Q18) 業務提案書等の提出資料に自社調べによる他社情報を記載してもよいか。 (例) 特典内容・利用方法など</p>	<p>A18) 自社調べであることを明記すれば可能です。ただし、自社情報を優良誤認する恐れのある表現や、他社情報を不当に悪く扱うような表現は避けてください。</p>

<p>Q19) 業務提案書の提出書類オ「過去2 箇年の国、地方公共団体又は公法人」と の契約実績を示す書類提出にあたり、団 体名称と契約期間を一覧で明記したも の でよいか。 それとも各団体と締結した契約書の写 し等の提出が必要か。</p> <p>Q20) 業務提案書とは別に提案内容をまと めた別紙資料にて、プレゼンテーション の実施は可能か。 可能な場合、プレゼンテーション当日 に該当資料を配布することは可能か。</p> <p>Q21) 選定員は何名予定か？また選定員の 性別・年代・所属を教えてください。</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>Q22) 鎌倉市役所様専用の追加企画をセッ トにすることは問題ないか。</p> <p>Q23) 直近3年間で会員に対して福利厚生 サービスに関するアンケートを実施して いるか。実施している場合は、アンケー ト結果を提供してほしい。</p>	<p>A19) 団体名及び契約期間が明記されているものであれば差 し支えありません。 ただし、事業者の選定後、契約を締結する際には、契約 書の写し等を提出いただく場合がありますことをご承知お きください。</p> <p>A20) プレゼンテーションの際には、市がプロジェクター及 びスクリーンを用意いたしますので、その際に投影する資 料を紙で印刷して配付することは可能です。</p> <p>A21) 選定委員会は、委員5名で組織し、委員は職員課担当 課長、財政課長、教育総務課担当課長、消防総務課長及び 鎌倉市役所職員厚生会副会長です。性別、年代は公表して おりません。</p> <p>A22) 追加企画については、予算の範囲内であれば可能で るので、ご提案ください。</p> <p>A23) 直近3年間で、会員に対して福利厚生サービスに関す るアンケートは実施しておりません。</p>
---	---